

Piano Trio Concert in Autumn

～ウィーンの薫りとロシアの追憶～



ヴァイオリン 泉原 隆志
Takashi IZUHARA



ピアノ 小林 玲子
Reiko KOBAYASHI



チェロ 藤森 亮一
Ryoichi FUJIMORI

Program

シューベルト ピアノ三重奏曲 第1番 変ロ長調 作品 99(D.898)
F. Schubert: Piano Trio No.1 in B-flat major Op.99 D.898

ショスタコーヴィチ ピアノ三重奏曲 第2番 ホ短調 作品 67
D.Schostakovich:Piano Trio No.2 in E minor Op.67

2019
9/10 火

19時開演(18時30分開場)
府民ホールアルティ
京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅
6番出口より南へ徒歩5分

◆入場料 / 4,000 円 (全席自由) ※未就学児の入場はご遠慮ください

◆チケット取り扱い / チケット発売日5月7日(火)

京都ミューズ ☎075-441-1567

府民ホールアルティ ☎075-441-1414

チケットぴあ ☎0570-02-9999 (自動音声受付) (Pコード 149-020)

お問い合わせ / 京都ミューズ

☎075-441-1567

後援 / 京都音楽家クラブ

Profile

泉原 隆志 Takashi IZUHARA / ヴァイオリン



東京で生まれる。桐朋女子高校音楽科（共学）ヴァイオリン科首席で卒業。桐朋学園大学ソリストディプロマコース修了、ディプロム取得。その後、ブリュッセル王立音楽院に留学。ロームミュージックファンデーション、文化庁芸術家在外研修員として更に研鑽を重ね、ハンブルグ国立音楽大学大学院を首席で卒業しディプロム取得。これまでにアンナ・ペレック、原田幸一郎、イゴール・オイストラフ、ピョートル・モンティアヌの各氏に師事。桐朋学園在学中に公開マスタークラスや各地の音楽祭でイゴール・オジム、オーギュスタン・デュメイ、シュロモ・ミンツ、ドロシー・ディレイ、ヴィクトル・トレチャコフ各氏などの指導を仰ぐ。13歳で初ソロリサイタルを行い、その後各地で精力的にソロリサイタルを開催。ブリュッセル王立音楽院大ホールにて「プロコフィエフのソナタの夕べ」リサイタル、その他ベルギー、フランス、スイス、イタリア、ドイツ、イスラエル、オランダ、スペインでの数々のコンサートに出演。近年はフランス人ピアニストのジュリアン・カンタンと共演し、フランス音楽を中心に幅広いレパートリーを展開している。京都市交響楽団のメンバーを中心とした「メリメロアンサンブル」を結成し、定期的に演奏活動を行う。法然院「室内楽の夕べ」シリーズや、アンサンブル・ベガにゲスト出演、室内楽セミナー「秋吉台の響き」の講師を務めるなど、室内楽奏者としても注目を浴びている。東京交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、岡山フィルハーモニック交響楽団など主要オーケストラの客演コンサートマスター、サイトウ・キネン・オーケストラのメンバーを務める。現在は京都市交響楽団のコンサートマスター、京都市立芸術大学非常勤講師。2012年京都市芸術新人賞を受賞。2019年京都府文化賞奨励賞を受賞。

藤森 亮一 Ryoichi FUJIMORI / チェロ



1963年京都に生まれる。11歳よりチェロを学び始める。京都市立堀川高等学校音楽科（現、京都市立京都堀川音楽高等学校）を経て、1982年東京音楽大学に特待生で入学。同年第29回文化放送音楽賞を受賞。1983年第52回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位。1986年第21回東京国際音楽コンクール弦楽四重奏部門・斉藤秀雄賞受賞。1987年、NHK交響楽団に入団。1990年ドイツに留学し、ミュンヘンでさらに研鑽を重ねる。これまでに、故・徳永兼一郎、上村昇、河野文昭、ワルター・ノータスの各氏に師事。1998年モルゴア・クアルテットとして村松賞を受賞。1999年東京オペラシティにおいて無伴奏チェロ曲によるリサイタルを行う。また同年カザルスホールにて「P・カザルスに捧げるチェロ連続演奏会」に出演し、いずれも絶賛を浴びる。2000年より、チェロ四重奏「ラ・クアルティエーナ」を結成。演奏会のチケットが入手困難なほど、好評を博している。2007年度第26回京都府文化賞功労賞を受賞。2010年度モルゴア・クアルテットとしてアリオン賞を受賞。現在、NHK交響楽団首席奏者を務めるかわら、ソロやアンサンブルの領域でも意欲的な演奏を繰り広げ、国内外のアーティスト等と活発に共演。レコーディング活動においては、ソロはもちろん、さまざまなアーティストから絶大な信頼を得ている。現在、東邦音楽大学特任教授、国立音楽大学客員教授、東京芸術大学非常勤講師を務め後進の指導にあたっている。

小林 玲子 Reiko KOBAYASHI / ピアノ



京都市立堀川高等学校音楽科（現、京都市立京都堀川音楽高等学校）を経て東京芸術大学音楽学部卒業。同大学院修士課程修了。在学中第54回日本音楽コンクール入選。マルセイユ国立音楽院に留学、1990年1等賞を得て卒業。帰国後第1回ABC新人オーディション合格、ザ・シンフォニーホールにて新人コンサートに出演。1992年バロックザール、2002年府民ホールアルティ、2005年、2009年フェニックスホール、2017年バロックザールにてソロリサイタルを開催。2018年京都バッハゾリステンとベートーヴェンピアノ協奏曲第5番「皇帝」を共演。又ヤナーチェク弦楽四重奏団やパリ・カルテットとの共演など室内楽の分野にも積極的に取り組んでいる。アンサンブル Kyotossimo のメンバーとしても幅広く活動。2014年よりピアノトリオコンサートを開催し今回3回目となる。2015年第34回藤堂音楽賞受賞。これまで故・安川加寿子、故・ピエール・バルビゼ、矢部民、福井尚子、椿久美子、シュテファン・アーノルドの各氏に師事。現在、神戸女学院大学、京都堀川音楽高等学校非常勤講師、同志社女子大学嘱託講師として後進の指導にあたっている。